

第6学年-Unit5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること (2/2時間)

1. 単元目標

- ・第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者についてできることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

2. 表現・言語材料

○Can you (sing well)? Yes, I can./ No, I can't. [I/ You/ He/ She] [can/ can't] (sing well).

○動作(play[soccer/ badminton/ table tennis/ volleyball/ shogi/ kendama/ the recorder/ the piano], do[kendo/ judo], ride a [bicycle/ a unicycle], swim, skate, ski, cook, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする ○Let's Chant:(p.35) ・音声にのせて何度も聞いたり言ったりして、表現を使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・ゆっくりバージョンに慣れてくれば、速いバージョン、またはカラオケバージョンにして、十分に音声に慣れ親しませる。 ・パートに分けて歌わせる工夫もできる。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">友だち紹介のスピーチをしよう。</p>	デジタル教材
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's Listen 3(p.40) ・音声を聞いてどの人物かを考え、イラストの下の()に番号を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせの際は、単に番号を確認するのではなく、一文毎に音声が続いて言わせるようにする。 ・解答を確認したあと、聞き取れた内容から、She can～./can't～.と口頭練習を行い、人物紹介を行う際に使う表現に慣れ親しませる。 	デジタル教材
2分	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル提示 ・教師によるモデルスピーチを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がモデルスピーチをし、目指すべき姿を事前に共有する。 ・理解を促すイラストだけのポスターを作成し、表情豊かに、ジェスチャーも交えてスピーチを行う。 ・逆に悪い例を見せ、どんな点を改善するべきかを考えさせてもよい。 ・スピーチでは自分のことや感想も含めて伝えられるようにする。 	ポスター
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○Activity 5(p.40) スピーチ作成と練習 ・スピーチの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の登場人物のスピーチメモが、紹介する際のモデルの一つとなる。登場人物のスピーチメモは全てを文字で表しておらず、一部をイラストで表している。児童に英語の文構造への気付きを促せると思われる。 ・紹介する人と自分の情報を最低2つつ入れてスピーチを作成させる。(先生紹介とあるが、先生に固定しなくてもよい。) ・スピーチの際には、ポスターなどを作成してそれをもとにスピーチを行うShow&Tell形式で行うのもよい。児童がポスターを見ながら話すことで、話し方に余裕が生まれる。聞く側も内容の理解がしやすくなる。 ・しかしイラストに時間をかけすぎず、練習時間を確保できるように声かけをする。 ・無理に英語を書かせようとしなくてもよいとする。書きたいという児童が現れたならば、書こうという挑戦する気持ちを称賛するようにする。 ・スピーチができた児童同士でペアを組ませ、たくさん練習させる。 	ポスター
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ発表会 ・スピーチの発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでスピーチの発表をさせる。 ・話し手はイラストだけを見て言うように促す。聞き手は相手のスピーチに対してI see. That's great.など、反応を示しながら聞くよう促す。 ・メンバーを変えて発表させる。 <p style="text-align: center;">◎第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとしている。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)<行動観察・発表></p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○全体発表 ・スピーチの交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表児童数名、前に出て発表させる。 ・友達の発表を聞く際には、聞く姿勢も大切であることを伝える。 	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・本時の振り返りを書かせる。 	振り返りカード